

「サウルの息子」26日上映

ホ 甲南大生研究発表も

第2次世界大戦中のユダヤ人虐殺を描いた映画「サウルの息子」の上映会が26日、元町映画館(神戸市中央区)である。上映後は、ホロコーストについて学んできた甲南大学(同市東灘区)の学生たちが、調査結果を報告。ホロコーストの背景を多角的な視点から浮

かび上がらせる。同館と同大のコラボ企画。「サウルの息子」は、強制収容所の囚人らで組織された特務班(ゾンダーコマンド)の男性を主人公に、ホロコーストの実態を斬新な手法で描き、数々の映画賞を受けた。日本では2016年に公開され、高い評

いくか。改めて考える機会にしたい」と学生。田野教授も「映画をただ見るだけでなく、発表を通じてその背景について深く知ることができるとして、参加を呼び掛ける。

午前10時から1回限り。1500円(当日券のみ)。学生らの発表は1時間程度を予定。同館☎078・366・2636

(黒川裕生)

多彩な表情の陶芸作品200点

作家・内田さん 収集品ナ

陶芸家であり、古美術、古道具の収集家でもある作家・内田鋼一さんが、自作や紀元前からの美術品など約200点を出品するテーマ展が、兵庫陶芸美術館(篠山市今田町上立杭)で開か

プロ養成へ

専門コース

4月から、生徒募集

専門学校アートカレッジ神戸高等課程(神戸市東灘区向洋町中1)が4月から、コンピュータゲームをスポーツとして競う「eスポーツ」に特化して学ぶゲームコースを設置する。プロプレイヤーとして活躍する選手による指導も受けられる予定で、プロ輩出を目指す。同校によると、高等教育部門でのコース設置は県内初といひ、1~3月の入試で計約30人の生徒を募集している。(鈴木雅之)

アートカレッジ神戸高等課程



e Sports

ゲーム対戦のスポーツ競技

eスポーツの練習に取り組む生徒たち。専門学校アートカレッジ神戸高等課程

おり、選手による指導を交えながらプロ養成を目指す。

現在、世界大会などでのゲームはチーム競技がメインで協調性も求められている。同校の担当者は「学校生活を通して人格形成も進めてもらいたい」。将来の五輪で競技追加を模索する動きもあり、「六甲アイランドから五輪選手を輩出したい」とも話す。

既に専用のパソコンなどの機材はそろい、有志の生徒がeスポーツに取り組んでいる。

入学試験は1月26日(出願は25日まで)▽2月23日(同2月1~22日)▽3月23日(同3月1~22日)一計3回実施する。同校高等課程☎078・858・6318

eスポーツは、エレクトロニック(電子)・スポーツの略。格闘技やサッカー、パズルなどの対戦をスポーツと捉える。日本でも競技人口が増え始め、今年の茨城国体の文化プログラムに採用され、2022年に中国・杭州で開催されるアジア競技大会の正式種目になっている。

eスポーツで生計を立てるプロプレイヤーも増え、特に若い世代で競技人口が拡大するのを受け、同校でもコース設置を決めたという。入学後は、主要5教科の学習をしながら、世界でプレイヤーが多いというチーム対戦形式のオンラインゲーム「リーグ・オブ・レジェンド」の実習などに取り組む。同校の法人が国内プロリーグに所属するチームを運営して

漫画家水木さん 春の生誕祭PR

「ゲゲゲの鬼太郎」の作者、水木しん(故人)のう3月の「生誕祭」の担当者が

内田さんの須、土瓶も並

は、深さや直

で陶芸を学ん

らている。時